

令和6年度島根県職業訓練実施計画の策定に向けた方針(案)

資料
No. 2 - 3

令和5年度計画と同程度の規模で人材を育成

実施状況 の分析

①就職率が高く、応募倍率が低い分野
(R4実績で該当する分野) 「介護・医療・福祉」

◎業界に興味を持ってもらえるような仕掛けが必要。

②応募倍率が高く、就職率が低い分野
(R4実績で該当する分野) 「営業・販売・事務」

◎ワーキンググループの提唱した改善案を実施し、その取り組み状況を分析。

計画と実績 の比較

③介護分野の訓練が応募者不足により2コース開講できず。製造分野の訓練も充足率が低調。

◎充足率が低調な分野は業界イメージが先行して避けられる傾向にある。反面、就職率は高く需要はあるため、周知・広報を工夫する必要がある。

デジタル 化に向けた取組

④デジタル化に取り組む企業およびIT企業が少なく、急な推進は難しい。基礎的なデジタルリテラシーは求職者・求人者双方に需要がある。

◎デジタル分野のコース設定拡大に取り組みつつ、その他の訓練分野に基礎的なデジタルリテラシーが身につくカリキュラムを積極的に盛り込む。